

令和6年度第1回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和6年6月27日（木）13：30～14：40

場 所 伯耆町役場 本庁舎 3階 大会議室

出席委員 12名

渡邊 智之 （あさひ保育所保護者）【副会長】

神庭 美輝 （子育て支援センター利用者）

岩崎 奈美 （岸本小学校PTA）

山根 佳奈子（二部小学校PTA） 【会長】

椎木 慈 （ふたば保育所・あさひ保育所）

相見 光子 （小規模保育所こどもパル）

木島 久美 （子育て支援センター）

森 千代美（岸本放課後児童クラブ）

中島 寛 （溝口小学校放課後子供教室）

長田 修平 （民生児童委員協議会）

幅田 典代 （溝口小学校）

藤原 美枝 （教育委員）

欠席委員 なし

そ の 他 岡本 健司 （副町長）

事 務 局 福祉課（住田 浩平、北垣 栄美子、松浦 夏穂、後藤 彰信）

健康対策課（中原 孝訓、多久和 由恵）

教育委員会事務局（乗本 千都）

1. 開会

発言者	発 言 内 容
事務局	本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 定刻になりましたので、只今から令和6年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を開会する。 議事に入るまでの間は、事務局が進行する。 本日の会議については、後日会議録を作成し、町ホームページで公表する。

2. 委嘱状交付

発言者	発 言 内 容
事務局	委員へ委嘱状・辞令の交付。任期は、令和6年6月1日から2年間。

3. あいさつ

発言者	発 言 内 容
副町長	令和6年4月就任。よろしくお願いいたします。 現在、令和2年度から令和6年度までの2期目の計画が進んでいる。 また、今年度は令和7年度からの第3期目の計画を、来年3月に作成

	目標としている。 子育て支援につきましては、伯耆町の重大な政策として位置づけている。保育所、小中学校、子育て支援センター、放課後児童クラブはもとより、経済的支援についても実施している。 国の政策として、今年度10月から児童手当の拡充、また県の事業として、医療費の無償化が今年1月から18歳までで始まっている。町の政策についても、財源に限りがあるため、無償化までには至っていないが小中学校の給食費助成に取り組んでいる。その他、乳児家庭保育支援手当支給制度や出産・子育て応援金、ゆうあいパルで子どもの居場所づくりで、現在工事をしている。また、こしき保育所の空調・給湯設備等も今年から2年間かけて改修する予定にしている。あと障害者通所支援や産後ケア、赤ちゃん訪問、スクールガードリーダー、放課後子供教室、学校運営協議会等を、部署によって担当は異なるが福祉課・健康対策課・教育委員会が、同じ目標に向かって邁進している状況。 今回、様々な立場におられる皆様から貴重なご意見をいただき、次期計画について、子供の成長に基づくよりよい計画を作成していきたいので、協力のほどよろしくお願いいたします。
--	---

4. 委員・事務局自己紹介

発言者	発言内容
事務局	本日が第1回目の会議となるので、自己紹介をお願いします。
	(委員・事務局の自己紹介)
事務局	会議成立の報告をする。 委員総数12名のうち全員が出席。伯耆町子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定に基づき、本会議が成立していることを報告する。
事務局	「伯耆町子ども・子育て会議について」事務局より概要を説明する。
	(資料1により事務局説明)
事務局	説明した内容について、質問はないか。
	(質疑なし)

5. 会長・副会長の選任

発言者	進行内容
事務局	伯耆町子ども・子育て会議条例第5条の規定により、委員の互選によりこれを定めることとなっている。選出方法について意見はないか。
	(意見なし)
事務局	事務局から推薦させていただきたいがよいか。
	(異議なし)
事務局	会長に二部小学校PTAの山根 佳奈子さん、副会長にあさひ保育所保護者会の渡邊 智之さんを推薦する。 了承いただけるか確認したい。
	(委員了承)
事務局	条例第6条第1項の規定により、会議は会長が議長となるため、ここからの議事進行は、山根会長にお願いします。

会 長	皆様の協力により、スムーズな会議を進行していきたい。よろしくお願いします。
-----	---------------------------------------

6. 議事

発言者	発 言 内 容
会 長	(1)「伯耆町子ども・子育て支援事業計画の実施状況について」の説明を事務局に求める。
事務局	(第2期計画、 <u>資料2-1</u> 、 <u>資料2-2</u> により事務局説明)
会 長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委 員	たくしクラブ運営費の補助とは、具体的には何か。
事務局	スタッフの給料、活動に必要な材料費、電話代等。利用料だけでは全ての費用を賄うことができないため、運営費全般に補助している。運営団体も自己負担が出ないかたちで100%補助している。
委 員	たくしクラブは民間の運営とのことだが、スタッフの給料について、町営児童クラブのスタッフとの給料の差異はあるのか。
事務局	差異はなく、同額。運営団体にも給料の金額を情報提供している。
委 員	二部保育所が休所して2年経つが、再開のための目安等はあるか。
事務局	各クラス5名程度いないと、クラス運営ができない。3歳児～5歳児が各5名いれば、合計15名。それに1～2歳児が加わると、もう少し増えるところまで到達しないと、なかなか再開は難しい。議会でも説明済み。国の基準としては、保育所の運営は1保育所あたり20名以上の児童が基準となっている。それ以下であれば小規模保育所としての運営となる。引き続き動向を注視しつつ、効率よい保育をするために、保育所運営を検討していく。
委 員	実際のところ再開の予定はあるのか。児童数の状況は。
事務局	昨年度や今年度の出生も1名程度。今後、町外から里帰り等で増えてくる可能性もあるが、1, 2名という状況が続いているため、この状況が続くのであれば、再開は難しいと思われる。
委 員	以前、今年から子育てサークルはないと聞いたことがある。数年前までは活動していたと思うが、子育てサークルの現状・今後の活動予定は。
委 員	自分も運営側で関わっていたため、説明する。以前は子育てサークルを週1回、水曜日に開催していたが、利用者が減り運営する保護者さんの負担感が大きいという声や事業を引き継いで運営してもらえ方がなく、現在は休止している状況。運営する保護者が再開したいという声があれば、再開してほしいと担当課には伝えた。
事務局	運営主体が入所前の保護者さんであることから、子育て支援センターを利用する方等もあり、子育てサークルの運営を引き継ぐ方がなく、休止となっている。保護者さんから子育てサークル運営希望があれば、再開は可能。
委 員	保護者からの希望がない状況が続けば、今後この事業自体なくなるのか。
委 員	なくなるということではないと思うが、続けていくことの難しさがある。

事務局	事業実施の希望があれば、健康対策課に声をかけてほしい。
会 長	(2)「伯耆町子ども・子育て支援に関するアンケート調査の実施について」の説明を事務局に求める。
事務局	(資料3により事務局説明)
会 長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
	(質疑なし)
会 長	(3)「その他」について、事務局から議事はあるか
事務局	ありません
事務局	今回の議事の内容以外のことで、委員の皆様で普段、子ども・子育てに関連することで普段思っておられることがあれば、発言をお願いしたい。
委 員	産後ケア事業について、事業があることを忘れていて、1歳になる直前でお願ひしたら「いっぱいだ」と言われて利用できなかった。もう少し定期的に広報してもらえたらよかったと思う。お知らせをしてもらったときは、余裕がなく、聞き流してしまっていたように思う。子どもがもう少し大きくなったときにも伝えてもらっていたら、活用できたかなと思う。
事務局	妊娠届と赤ちゃん訪問時には案内をしているが、定期的には案内するようにはしていない。
委 員	出産直後は、ケア事業を使う余裕がないと思う。6か月健診のときに案内すると、その頃からはお母さんが安心できる時期に入るため実績が伸びる。案内の時期は何回かに分けてしてもらえると、事業があることを思い出せるし、利用しようかと思える。
事務局	健診時の広報を検討する。制度上1歳まで使えることにはなっているが、病院によっては産後4か月までなど利用期限があって、思ったときに使えないこともある。
委 員	アウトリーチもしているのか。
事務局	養育訪問事業で行っている。
委 員	西部の助産師会に相談すると、もしかすると産後ケアを子育て支援センター等の事業に組み込むことができるかもしれない。
委 員	保育所の入所希望について、自宅近くの保育所に入所することになるのか、またはどこの保育所に入所したいか希望を出せるのか。
事務局	入所申込時に第1希望～第3希望まで記入してもらう。小学校に入学する直前は、小学校に近い保育所に入所することがあるが、小さい年齢の場合、入所できる保育所が限られるため、入所できる保育所に入所されることがある。保護者の希望に基づいて入所調整をする。なるべく第1希望どおり入所してもらえよう調整しているが、どうしても第1希望の保育所で受入が難しい場合は、居住地等の勘案しながら入所調整をしている。
委 員	住所は溝口にありながら、あさひ保育所に入所するケースもあるのか。
事務局	実際にそのような入所もある。
委 員	今回の計画評価は、令和4年度のみか。令和5年度のものはいつ評価するのか。

事務局	冒頭に申したとおり、今回の会議では令和４年度の評価のみ。次回の会議で令和５年度の評価を行う予定。
委員	子育てに関する事業が数多くあるのは分かったが、その情報提供をしてもらっていると思うが、その情報を知る・掴むことが難しい。自身の子育てをしていて、「知っていれば使えたのに」「知っていれば妻をもっとサポートできたのに」という思いがあった。
事務局	赤ちゃん訪問や健診の際に、お母さんやお父さんに事業の情報をお伝えはしているものの、お母さんだけで来られている場合にはお父さんに情報を伝える手段がなく困っているところ。どのような情報提供方法だと受け取りやすいか。
委員	例えば何かの紙面にQRコードがあり、それを読み込むと一覧がみれるようになると良いと思う。そこを見ればわかるというようなもの。わからないことがあれば、担当課に聞くことはできる。以前は、どんな事業があるかもわからないから、聞きようがなかった。
事務局	子育て事業の一覧がのったリーフレットを作っていて、出生の際などにお渡ししている。ホームページに掲載はしていないかもしれない。
委員	入所までの子育て情報が受け取れるアプリなどはあるか。
事務局	ない。
委員	「知らない」ということで損しないためにも、同じ情報をみんなで共有するというのが子育て支援の第一歩になる。
事務局	情報提供の方法についてはまた検討する。情報提供が一番重要なことと思っている。

7. その他

発言者	発言内容
会長	7「その他について」の説明を求める。
事務局	(次の開催日程について) 次の開催は令和6年9月下旬としたい。具体的な日にちは、あらためて調整させていただく。 また、開催時間について、委員からの意見・要望を伺いたい。なければ、平日の日中で調整したい。
会長	開催日程について意見を求める。
	(意見なし)
会長	その他に意見等はないか。
	(意見なし)

8. 閉会

会長	本日の会議の日程は全て終了した。 これをもって、令和6年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。
----	---